

「土木工事現場必携」ご購入者様

「土木工事現場必携（令和2年3月）」の一部修正について

「土木工事現場必携（令和2年3月）」については、令和2年3月3日より販売を開始したところですが、下記のとおり内容の一部に誤りがありましたので、お知らせします。

なお、ご購入様には、大変ご迷惑をおかけしておりますが、「張付け型の修正用シール」を準備中ですので、出来上がり次第、送付いたしますので、よろしく願いいたします。

記

○修正箇所（別紙正誤表のとおり）

・ P 3 - 6 2

・ 参考図-1 RM-1 ブロック積(石積)擁壁(練積)の寸法表の裏込めコン厚さ

・ 寸法表のH（直高）3.50m～5.00mの裏込めコン厚さ、100を150に修正。

お問い合わせ先

<企画研修課>

電話番号 0964-28-6926

FAX 0964-28-7260

Eメール：kensyu@kuma-ctc.or.jp

正

誤

RM-1 ブロック積(石積)擁壁(練積) 参考図-1

標準断面図
基礎

天端コンクリート
積ブロック
胴込めコンクリート
裏込めコンクリート
裏込め材

基礎コン
基礎材

良質土または地山。なお、河川護岸または擁壁前面に水位がある場合には、斜線部を裏込め材とすること。

寸法表

H (直高) (m)	L(のり長)			控長	裏込め材厚さ								
	NI(前面勾配)				U ₁ (裏込め土が良好な場合)			U ₂ (裏込め土が普通な場合)					
	1:0.3	1:0.4	1:0.5		a	b	c	1:0.3	1:0.4	1:0.5	c	d	d
1.00	1044	1077	1118	350	100	200	344	339	334	300	444	439	434
1.50	1566	1616	1677	350	100	200	392	386	379	300	492	486	479
2.00	—	2154	2236	350	100	200	—	432	424	300	—	532	524
2.50	—	2693	2795	350	100	200	—	479	468	300	—	579	568
3.00	—	3231	3354	350	100	200	—	525	513	300	—	625	613
3.50	—	—	3913	350	150	200	—	562	549	300	—	662	649
4.00	—	—	4472	350	150	200	—	607	592	300	—	707	692
4.50	—	—	5031	350	150	200	—	652	635	300	—	752	735
5.00	—	—	5590	350	150	200	—	696	677	300	—	796	777

材料表 (1m当たり)

H (直高) (m)	裏込め材 (m ³)			裏込めコンクリート (m ³)			裏込め材計算一般式 (m ³)		
	U ₁ (裏込め土が良好な場合)	U ₂ (裏込め土が普通な場合)	裏込めコンクリート	1:0.3	1:0.4	1:0.5	1:0.3	1:0.4	1:0.5
1.00	0.149	0.153	0.158	0.212	0.218	0.225	0.106	0.113	0.121
1.50	0.301	0.308	0.317	0.416	0.427	0.440	0.158	0.167	0.177
2.00	—	0.489	0.502	—	0.661	0.681	—	0.221	0.232
2.50	—	0.694	0.711	—	0.920	0.946	—	0.274	0.288
3.00	—	0.924	0.945	—	1.204	1.236	—	0.328	0.344
3.50	—	—	1.205	—	—	1.551	—	—	0.602
4.00	—	—	1.489	—	—	1.891	—	—	0.686
4.50	—	—	1.798	—	—	2.257	—	—	0.770
5.00	—	—	2.133	—	—	2.647	—	—	0.854

基礎寸法表および材料表

a (控長)	b (裏込めコン厚さ)	寸法表				材料表 (1m当たり)	
		B ₁	B ₂	H ₁	H ₂	コンクリート (m ³)	基礎材 (m ²)
350	100	520	100	300	100	0.114	0.400
150	50	250	100	350	100	0.136	0.450

注意事項

- 中間の設計条件に対しては、直近上位のものを使用すること。
- ブロックは、圧縮強度σ_{ck}=18N/mm²以上とし、1m²当たりの使用質量は、350kg以上であること。
- 裏込めコンクリート、胴込めコンクリートおよび基礎コンクリートは、σ_{ck}=18N/mm²以上とすること。
- 裏込めコンクリートおよび裏込め材の寸法は、前面勾配に直角として表示してある。
- 寸法表中の裏込め材厚さ(d)は、基礎材厚(t)を20cmと仮定してある。
- 材料表中の裏込め材の数量は、根入れ深さ(h)を30cmと仮定してある。したがって、根入れ深さがこれと異なる場合は、別途計算すること。また、河川護岸または、擁壁前面に水位がある場合は、図中の良質土または地山の部分も裏込め材とすること。
- 比較的良好な地山の切土部に使用する場合は、裏込め材を上下等厚とし、材厚30cm~40cmとしてよい。
- 基礎材は、基礎地盤の状況に応じて別途検討し、材種、敷厚および数量を該当する箇所に明記すること。
- 擁壁前面の排水工には、特に注意し、φ50mm程度の水抜き孔を2.0~3.0m²に1箇所設けるのが望ましい。ただし、河川護岸または、擁壁前面に水位がある場合は、設けないこととする。
- 伸縮目地の間隔は、10m以下とすること。
- 寸法表、材料表、基礎寸法表および材料表の該当する部分を赤線で囲むなど、使用箇所を明記するのがよい。



RM-1 ブロック積(石積)擁壁(練積) 参考図-1

標準断面図
基礎

天端コンクリート
積ブロック
胴込めコンクリート
裏込めコンクリート
裏込め材

基礎コン
基礎材

良質土または地山。なお、河川護岸または擁壁前面に水位がある場合には、斜線部を裏込め材とすること。

寸法表

H (直高) (m)	L(のり長)			控長	裏込め材厚さ								
	NI(前面勾配)				U ₁ (裏込め土が良好な場合)			U ₂ (裏込め土が普通な場合)					
	1:0.3	1:0.4	1:0.5		a	b	c	1:0.3	1:0.4	1:0.5	c	d	d
1.00	1044	1077	1118	350	100	200	344	339	334	300	444	439	434
1.50	1566	1616	1677	350	100	200	392	386	379	300	492	486	479
2.00	—	2154	2236	350	100	200	—	432	424	300	—	532	524
2.50	—	2693	2795	350	100	200	—	479	468	300	—	579	568
3.00	—	3231	3354	350	100	200	—	525	513	300	—	625	613
3.50	—	—	3913	350	100	200	—	562	549	300	—	662	649
4.00	—	—	4472	350	100	200	—	607	592	300	—	707	692
4.50	—	—	5031	350	100	200	—	652	635	300	—	752	735
5.00	—	—	5590	350	100	200	—	696	677	300	—	796	777

材料表 (1m当たり)

H (直高) (m)	裏込め材 (m ³)			裏込めコンクリート (m ³)			裏込め材計算一般式 (m ³)		
	U ₁ (裏込め土が良好な場合)	U ₂ (裏込め土が普通な場合)	裏込めコンクリート	1:0.3	1:0.4	1:0.5	1:0.3	1:0.4	1:0.5
1.00	0.149	0.153	0.158	0.212	0.218	0.225	0.106	0.113	0.121
1.50	0.301	0.308	0.317	0.416	0.427	0.440	0.158	0.167	0.177
2.00	—	0.489	0.502	—	0.661	0.681	—	0.221	0.232
2.50	—	0.694	0.711	—	0.920	0.946	—	0.274	0.288
3.00	—	0.924	0.945	—	1.204	1.236	—	0.328	0.344
3.50	—	—	1.205	—	—	1.551	—	—	0.602
4.00	—	—	1.489	—	—	1.891	—	—	0.686
4.50	—	—	1.798	—	—	2.257	—	—	0.770
5.00	—	—	2.133	—	—	2.647	—	—	0.854

基礎寸法表および材料表

a (控長)	b (裏込めコン厚さ)	寸法表				材料表 (1m当たり)	
		B ₁	B ₂	H ₁	H ₂	コンクリート (m ³)	基礎材 (m ²)
350	100	520	100	300	100	0.114	0.400
150	50	250	100	350	100	0.136	0.450

注意事項

- 中間の設計条件に対しては、直近上位のものを使用すること。
- ブロックは、圧縮強度σ_{ck}=18N/mm²以上とし、1m²当たりの使用質量は、350kg以上であること。
- 裏込めコンクリート、胴込めコンクリートおよび基礎コンクリートは、σ_{ck}=18N/mm²以上とすること。
- 裏込めコンクリートおよび裏込め材の寸法は、前面勾配に直角として表示してある。
- 寸法表中の裏込め材厚さ(d)は、基礎材厚(t)を20cmと仮定してある。
- 材料表中の裏込め材の数量は、根入れ深さ(h)を30cmと仮定してある。したがって、根入れ深さがこれと異なる場合は、別途計算すること。また、河川護岸または、擁壁前面に水位がある場合は、図中の良質土または地山の部分も裏込め材とすること。
- 比較的良好な地山の切土部に使用する場合は、裏込め材を上下等厚とし、材厚30cm~40cmとしてよい。
- 基礎材は、基礎地盤の状況に応じて別途検討し、材種、敷厚および数量を該当する箇所に明記すること。
- 擁壁前面の排水工には、特に注意し、φ50mm程度の水抜き孔を2.0~3.0m²に1箇所設けるのが望ましい。ただし、河川護岸または、擁壁前面に水位がある場合は、設けないこととする。
- 伸縮目地の間隔は、10m以下とすること。
- 寸法表、材料表、基礎寸法表および材料表の該当する部分を赤線で囲むなど、使用箇所を明記するのがよい。